

10 / 31

Fri

研究校 松本市立開智小学校

共同研究者 岩瀬直樹
(軽井沢風越学園 校長)

共に学び合う 子どもと教師 ～わくわくする 授業をつくる～

「同僚と語り合う研修」「同僚と共につくる授業」

令和7年度、まず研究テーマの在り方を係内で話し合いました。そこでは「これまで研究テーマは、正直、職員にあまり意識されていなかったのではないだろうか」「でも、研究テーマって実は自分たちがどこに向かうのか、何を大切にしたいのかを示す大切なものじゃないだろうか」といった意見が出されました。そして、改めてどんな授業を目指していきたいのかを全校の職員と語り合う研修の場を設け、今年度の研究テーマを設定しました。このように私たちは3年間探究的な学びを模索し続ける中、「同僚と語り合う研修」また「同僚と共につくる授業」ということを常に真ん中に置き研究を進めてきました。学び創造研究会当日もそうした開智小学校の職員室の日常と、今も模索し続けている探究的な学びの授業の1時間をご参観いただきたいと思います。

開智小学校×軽井沢風越学園

- ・異年齢（4・5年生）による学び
- ・テーマプロジェクト
(大きなテーマから深く追求していきたいことを子どもたちが考える)
- ・中間アウトプット会（当日公開）

軽井沢風越学園の実践をモデルにした探究的な学びを実践しています。特に今年度はアンカーイベント（テーマプロジェクトの導入）に力を入れ、体験とその中で生まれる子どもの思いを丁寧に見取りながら子どもたち一人一人のテーマの設定を大切にしてきました。風越学園で行っている「方法」をそのまま本校に貼り付けるのではなく、その「目的や価値」、そして子どもの姿や授業の事実を、同僚や共同研究者の岩瀬先生と語り合いながら、開智小だけの中間アウトプット会をつくりあげていきます。



共同研究者 岩瀬先生から

これから公教育が変わっていく鍵は「異年齢」にあると考えています。異年齢で学ぶことで子どもはもちろん、その結果、大人も学び合い磨き合う土壌ができます。当日の研究会は、子どもたちの躍動した姿と共に、教職員がどのように学び合ってきたのかを体感する機会になるはずです。両者の学びは入れ子構造。研究会のスタイルにも注目です。



～日程～

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 受付 | 12:30～12:50 |
| ② 開会式 | 12:50～13:10 |
| ③ 授業公開 | 13:20～14:05 |
| ④ 授業を語る会（共同研究者講演含む） | 14:30～16:30 |
| ⑤ 閉会式 | 16:35～16:45 |